

Leaders
in Trusted
Technologies

NISSHA

2026年12月期
第2四半期（中間期）
決算説明会

2026年9月30日

NISSHA株式会社

代表取締役社長 最高経営責任者
鈴木順也

USM Healthcareにおける不適切な会計処理（本件）の調査について

これまでの経緯

- 2026年5月20日 USMを買収（連結子会社化）
- 2026年6月26日 買収前の不適切な会計処理が判明
- 2026年7月10日 外部専門家を含む体制で調査開始
- 2026年8月14日 半期報告書提出期限延長に関する承認
- 2026年9月17日 USM株式を売却し、連結から除外
- 2026年9月30日 中間決算の発表、半期報告書の提出

調査結果

- 当社は本件の不適切な会計処理に一切関与していない
- USMは、2019年頃から当社による買収前までの間、資金繰りを目的として、サプライヤーおよび代理店を介した資金還流を伴う循環取引を継続的に実施
- 当該取引は複数の関係者が関与する複雑なスキームの下で行われており、当社買収前の外部会計監査および当社買収時のデューデリジェンスにおいて把握されなかった
- USM単体の財務諸表において、実態のない売上高・利益のほか、架空の売掛金や棚卸資産等が計上された結果、資産は実態よりも約46億円過大なものとなっており、これらが当社の買収価額を押し上げる要因となった
- その結果、当社はUSMののれんの減損損失を計上

- 当社は、当社が買収する前のUSMにおける不適切な会計処理を認識して以来、その全容の解明に努めてまいりました。結果として、USMの事業に将来性がなく、USMを買収した当初の目的を実現することが難しいと判断し、USM株式の譲渡を決定しました。USMの買収と株式譲渡に伴い発生する最大損失額は約68億円であり（次頁）、これらは当第2四半期（中間期）連結累計期間にて計上済みです。今後は、これらの損失の回収に努めてまいります。また、取締役会において、USMの買収を決定するに至ったプロセスを検証し、その結果をもとに、同種事案の未然防止策の策定、コーポレートガバナンスの一層の強化、本件に関する責任の在り方などについて検討を進め、総括を行いました後、それらの内容を開示いたします。

本件による財務影響

- H1： USM買収により生じたのれんの減損テストを実施、減損損失を計上
- H2： USMの不適切な会計に関する調査費用を計上

	H1影響額	内容	H2予想 影響額	内容
営業利益	▲68億円	USMのれん減損	▲6億円	本件の調査費用
親会社の所有者に帰属する 当期（中間）利益	▲68億円	営業利益の影響	▲6億円	営業利益の影響

- USM株式の譲渡について
 - 譲渡先： VÕ XUÂN BỘI LÂM (USM取締役)
 - 譲渡株式数： USM株式の60%（当社の全保有分）
 - 初回譲渡： USM株式の50%（USMの連結除外を優先）→ 9月17日完了、連結から除外
 - 次回譲渡： USM株式の10%（2027年9月中旬～2028年9月中旬）

ハイライト

2026年12月期 第2四半期（H1）の実績

● Tailwinds

- 連結業績：売上高は前回予想を上振れ、USMののれん減損損失を除くと、営業利益は前回予想を上振れ
- 産業資材：加飾分野の需要が堅調、サステナブル資材の需要がQ2に回復
- メディカル：医療機器CDMOの需要が堅調に推移

● Headwinds

- ディバイス：タブレット向け需要が力強さを欠く
- 産業資材：モビリティ外装機能部品の生産関連費用が引き続き発生

2026年12月期 H2の見通し

● H2の事業環境を見直し、業績予想を下方修正

- ディバイス：タブレット向け需要が低迷（サプライチェーンにおける生産調整）
- 産業資材：モビリティ外装機能部品の生産関連費用が継続
- メディカル：需要堅調、収益性向上

● H2想定為替レート：155円／USD（前回計画145円／USD）

2026年12月期 H1（6カ月）の実績

Leaders in Trusted Technologies

(百万円)

	2025 H1 実績	2026 H1 前回予想	2026 H1 実績	前年同期比 (2025H1比)	前回予想比
売上高	97,049	94,000	✓ 96,033	▲1.0%	✓ +2.2%
産業資材	37,570	39,800	41,147	+9.5%	+3.4%
デバイス	29,752	23,300	22,868	▲23.1%	▲1.9%
メディカル	26,886	28,100	29,034	+8.0%	+3.3%
医療機器	23,459	24,800	25,671	+9.4%	+3.5%
医薬品	3,427	3,300	3,362	▲1.9%	+1.9%
その他	2,839	2,800	2,982	+5.0%	+6.5%
営業利益			※1 USM減損含む ▲4,500	-	-
営業利益率	2,558 2.6%	1,800 1.9%	-4.7%	-7.3pt	-6.6pt
			USM減損除く ✓ 2,258 2.4%	▲11.7%	25.4%
			-0.2pt	+0.5pt	
産業資材	2,107	1,600	1,519	▲27.9%	▲5.0%
デバイス	1,097	900	※1 USM減損含む ▲6,050	-	-
メディカル	1,715	1,800	USM減損除く 708	▲35.4%	▲21.2%
その他	▲400	▲100	1,905	+11.1%	+5.9%
調整額	▲1,961	▲2,400	▲12	-	-
			※2 ✓ ▲1,862	-	-
税引前利益	1,092	1,300	▲4,806	-	-
親会社の所有者に帰属する中間利益	20	300	▲5,473	-	-
為替レート（平均）	¥149/\$	¥155/\$	¥156/\$		
為替レート（直前期末→当該期末）	¥158/\$→¥145/\$		¥157/\$→¥162/\$		

2026年12月期 Q2（3カ月）の実績

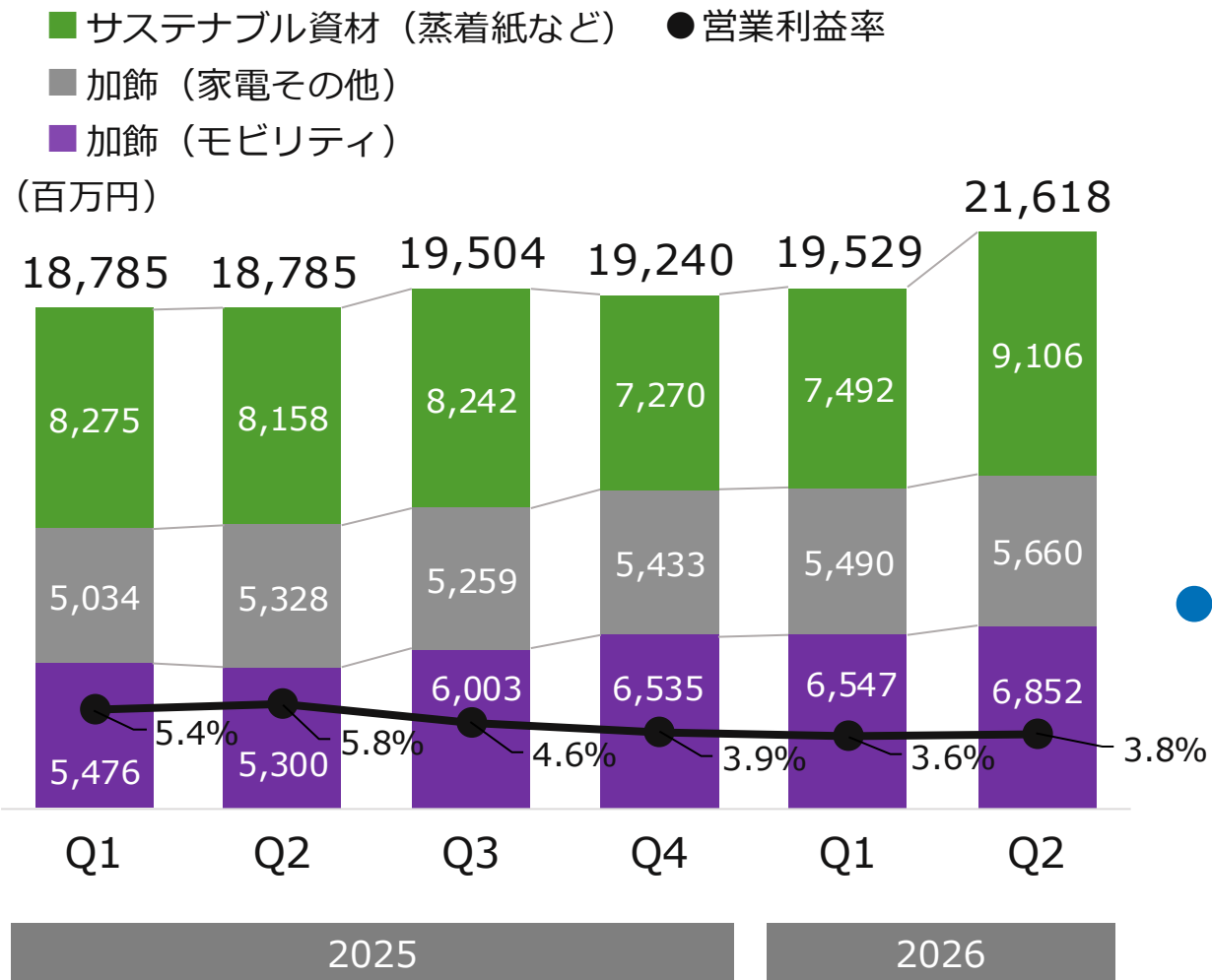
Leaders in Trusted Technologies

(百万円)

	2025 Q2 実績	2026 Q1 実績	2026 Q2 前回予想	2026 Q2 実績	前年同期比 (2025 Q2比)	前四半期比 (2026 Q1比)	前回予想比
売上高	49,606	45,790	48,210	✓ 50,242	+1.3%	+9.7%	✓ +4.2%
産業資材	18,785	19,529	20,271	21,618	+15.1%	+10.7%	+6.6%
デバイス	16,193	10,400	12,900	12,468	▲23.0%	+19.9%	▲3.3%
メディカル	13,261	14,134	13,966	14,899	+12.4%	+5.4%	+6.7%
医療機器	11,510	12,337	12,463	13,334	+15.8%	+8.1%	+7.0%
医薬品	1,751	1,797	1,503	1,565	▲10.6%	▲12.9%	+4.2%
その他	1,366	1,727	1,073	1,255	▲8.1%	▲27.3%	+17.0%
営業利益				※1 USM減損含む ▲5,251	-	-	-
営業利益率	1,126 2.3%	750 1.6%	1,050 2.2%	-10.5%	-12.8pt	-12.1pt	-12.7pt
				USM減損除く ✓ 1,507 3.0%	+33.9% +0.7pt	+100.9% +1.4pt	+43.6% +0.8pt
産業資材	1,094	708	892	811	▲25.9%	+14.6%	▲9.1%
デバイス	232	392	508	※1 USM減損含む ▲6,443	-	-	-
メディカル	973	841	959	USM減損除く 316	+35.9%	▲19.5%	▲37.8%
その他	▲228	99	▲199	1,064	+9.4%	✓ +26.6%	✓ +11.0%
調整額	▲945	▲1,290	▲1,110	▲112	-	-	-
				※2 ✓ ▲572	-	-	-
税引前利益	500	751	549	▲5,557	-	-	-
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	8	422	▲122	▲5,895	-	-	-
為替レート（平均）	¥145/\$	¥155/\$	¥155/\$	¥157/\$			
為替レート （直前期末→当該期末）	¥150/\$ →¥145/\$	¥157/\$ →¥160/\$		¥160/\$ →¥162/\$			

産業資材：2026Q2実績、H2見通し

四半期別 売上高・営業利益率



● Q2実績 QoQ（為替レート：¥157/\$）

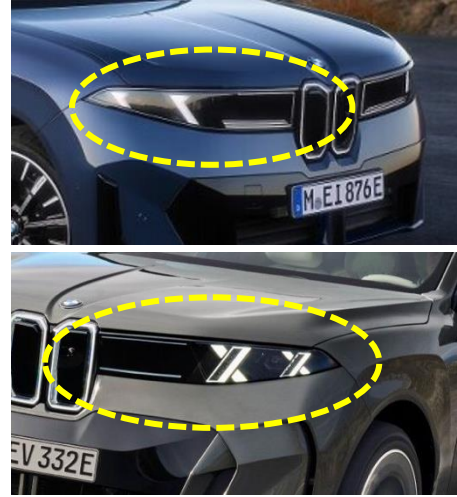
- 加飾：モビリティ外装機能部品の需要が継続
- サステナブル資材（蒸着紙）：需要が回復
- 営業利益：モビリティ外装機能部品の生産関連費用が利益を圧迫（ドイツ）
 - 原因：生産歩留まりの低迷
 - 追加費用：追加人員の投入、品質改善コスト
 - 進捗：歩留率は改善中

● H2見通し HoH（想定為替レート：¥155/\$）

- 加飾：モビリティ外装機能部品の需要堅調
- サステナブル資材：需要は底堅く推移
- 営業利益：生産安定化に向け、モビリティ外装機能部品の生産関連費用が継続

産業資材：モビリティ外装機能部品の受注が拡大

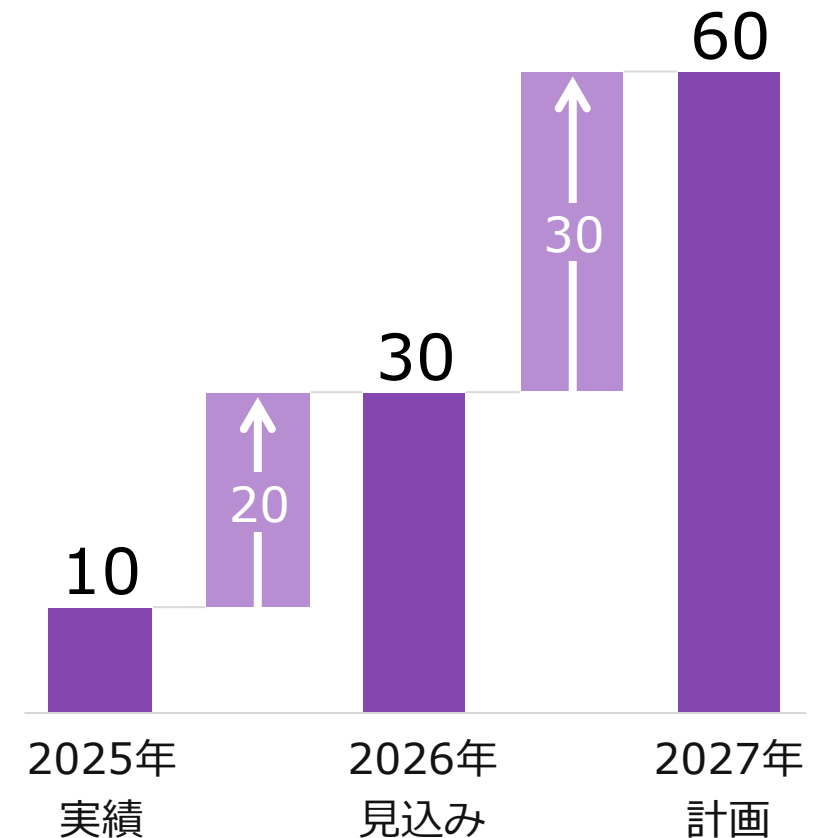
- 2026年見込み：年間売上高30億円に拡大
- 2027年計画：欧州向けヘッドライトの生産数量拡大を中心に、年間売上高60億円へ拡大
- 2028年～：欧州・アジアのOEM向けに、複数の商談・引き合いが進行中



ヘッドライト

案件	採用部位	主要市場	売上高（億円）		
			2025	2026	2027
1	ヘッドライト	欧州	10	20	40
2	ヘッドライト	米州	-	5	12
3	リアライト	日米中	-	5	6
4	リアライト	日米中	-	-	2
合計			10	30	60

モビリティ外装機能部品
売上高の成長（億円）

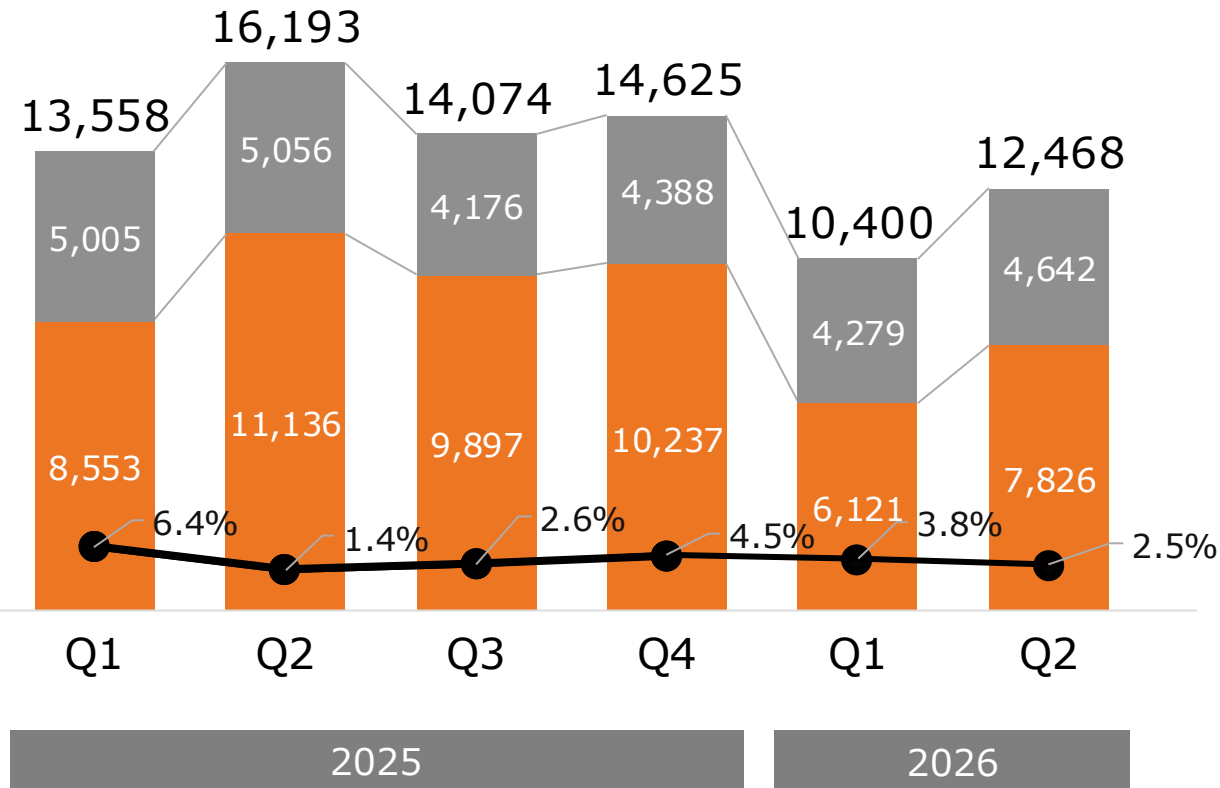


デバイス：2026Q2実績、H2見通し (USMののれん減損損失除く)

四半期別 売上高・営業利益率

■ 業務用端末（物流関連）・その他 ● 営業利益率（減損損失除く）
 ■ タブレットなど

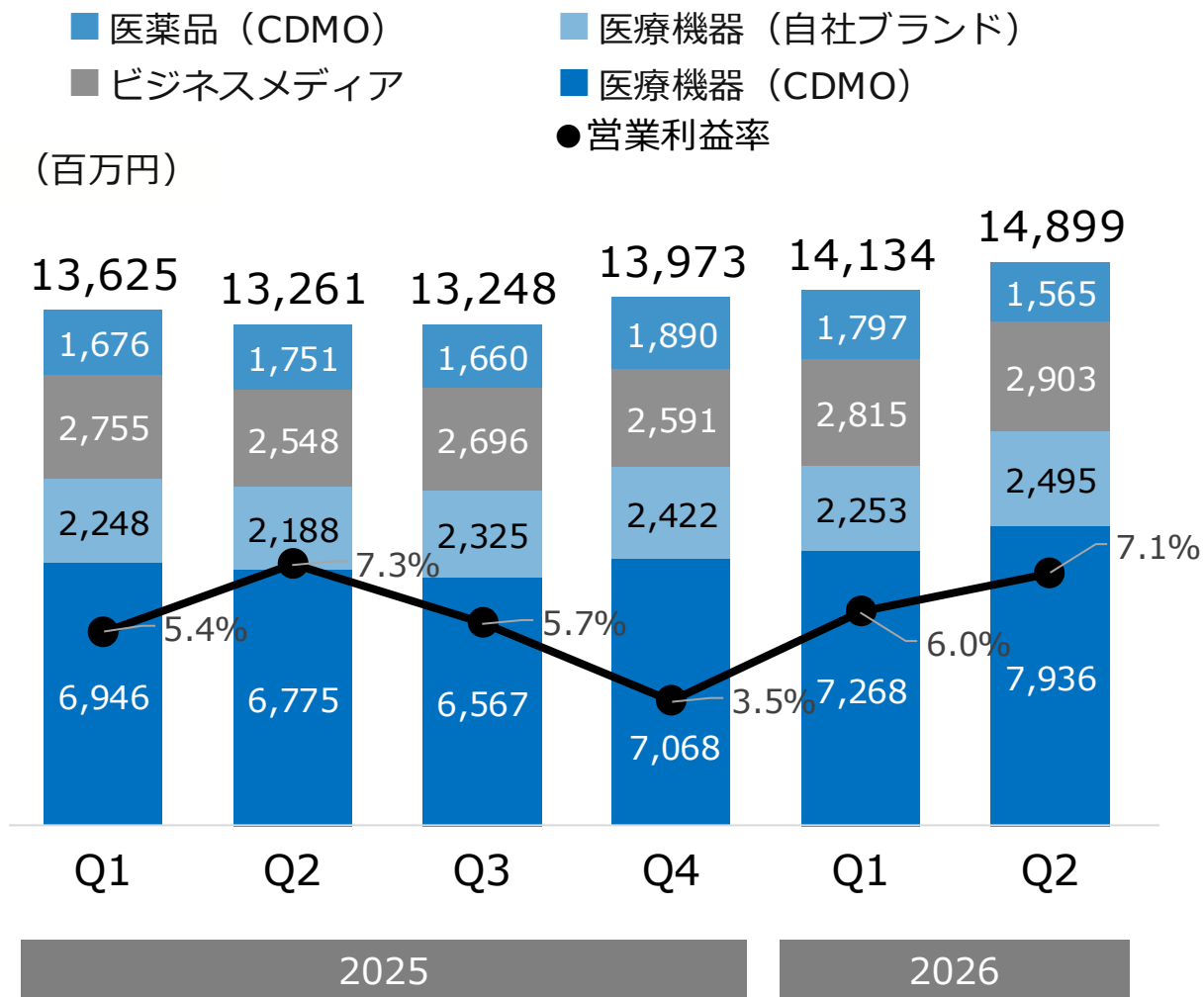
(百万円)



- Q2実績 QoQ (為替レート： ¥157/\$)
 - タブレット： 需要改善も力強さを欠く
 - 営業利益： Q1との生産平準化の影響により減少
- H2見通し HoH (想定為替レート： ¥155/\$)
 - タブレット： サプライチェーンの生産調整により、需要低迷が継続
 - 営業利益： 需要低迷に伴う生産稼働の低下が収益性を圧迫

メディカル： 2026Q2実績、H2見通し

四半期別 売上高・営業利益率



● Q2実績 QoQ (為替レート： ¥157/\$)

- 医療機器CDMO： 需要堅調
- 一般用医薬品CDMO： 設備更新に伴い稼働が一時的に低下 (計画通り)
- 営業利益： 収益性が改善

● H2見通し HoH (想定為替レート： ¥155/\$)

- 医療機器CDMO： 底堅い需要が継続
- 一般用医薬品CDMO： 需要が増加
- 営業利益： 増収効果により増益

2026年12月期 業績計画

Leaders in Trusted Technologies

(百万円)

	前回計画 (5/12発表)			今回計画 (9/30発表)		
	FY2026 通期 計画	FY2026 H1 計画	FY2026 H2 計画	FY2026 通期 計画	FY2026 H1 実績	FY2026 H2 計画
売上高	198,000	94,000	104,000	195,000	96,033	98,967
産業資材	81,400	39,800	41,600	84,500	41,147	43,353
デバイス	54,000	23,300	30,700	45,600	22,868	22,732
メディカル	56,800	28,100	28,700	59,100	29,034	30,066
医療機器	49,300	24,800	24,500	51,800	25,671	26,129
医薬品	7,500	3,300	4,200	7,300	3,362	3,938
その他	5,800	2,800	3,000	5,800	2,982	2,818
営業利益	7,000	1,800	5,200	▲3,300	▲4,500	1,200
営業利益率	3.5%	1.9%	5.0%	-1.7%	-4.7%	1.2%
産業資材	4,200	1,600	2,600	2,800	1,519	1,281
デバイス	3,000	900	2,100	▲6,000	▲6,050	50
メディカル	4,200	1,800	2,400	4,300	1,905	2,395
その他	▲200	▲100	▲100	▲200	▲12	▲188
調整額	▲4,200	▲2,400	▲1,800	▲4,200	▲1,862	▲2,338
税引前利益	5,700	1,300	4,400	▲4,400	▲4,806	406
親会社の所有者に帰属する 当期（中間）利益	3,200	300	2,900	▲6,200	▲5,473	▲727
為替レート（平均）	¥150/\$	¥155/\$	¥145/\$	¥155/\$	¥156/\$	¥155/\$

(ご参考)
設備投資・減価償却費及び償却費・M&A投資・
研究開発費（2026年）

（百万円）

	第1四半期 （1-3月） 実績	第2四半期 （4-6月） 実績
設備投資	2,334	3,377
減価償却費 及び償却費	2,562	2,661
M&A投資	648	7,208
研究開発費	766	757

(ご参考) ESGに対する当社の外部評価

● ESG評価機関

- CDP : 気候変動「A」評価（8段階の最上位評価）、
サプライヤーエンゲージメント・リーダー（2年連続）



● 指数・インデックス

- GPIFが採用するESG指数
 - FTSE JPX Blossom Japan Index
 - FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index
 - S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数
- その他
 - SOMPO サステナビリティ・インデックス
 - 健康経営優良法人
 - くるみん認定



FTSE JPX Blossom
Japan Index



FTSE JPX Blossom
Japan Sector
Relative Index



Sompo Sustainability Index



2026
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門



Leaders in Trusted Technologies

本プレゼンテーションに掲載されている情報および決算説明会・カンファレンスで提供される情報のうち業績の目標、計画、見通し、戦略、その他過去の事実ではない情報については、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含みます。実際の業績は、経済動向、市場需要、為替の変動などのさまざまな要因によって大きく変わる可能性があります。